

「青い目の人形」に見る資料展

展示期間：平成 22 (2010) 年 7 月 2 日 (金) ～ 10 月 6 日 (水)

場 所：福島県立図書館 展示スペース

昭和 2 (1927) 年、日米親善のために、アメリカ人宣教師ギュリック博士の手により、たくさんの人形が日本の子どもたちに贈られました。その時代背景には、亀裂が入り始めた日米関係があり、なんとか修復したいとの願いが込められていたのです。その数約 1 万 2 千体余り。これらの人形は「青い目の人形」と呼ばれ、全国の小学校や幼稚園に届けられ、子どもたちから大変かわいがられました。福島県には 323 体が到着したことが当時の新聞から読みとれます。

そして、日本からもこの友情人形に対するお返しとして、答礼人形^{とうれい}が贈られました。

ところが、平和への願いもむなしく昭和 16 (1941) 年には太平洋戦争が始まり、かつての親善使節も敵国人形ということになり、ほとんどが処分されてしまったのです。しかし、このような厳しい戦時下にあっても、人形に託された意義と戦争の愚かさに冷静な目を向け、人形を守ろうとした人たちがいたのです。

今回の展示は、当時の地元新聞などが、人形に込められた友情や交流への願いをいかに伝えたか、また戦争という状況下で人々の心がどのように変わっていったかということ、資料から読み取れるように企画しました。子どもたちにも人形が語りかける戦争の悲しさ、平和の尊さを感じてもらえれば幸いです。

開催にあたり、貴重な資料をお貸しくださった皆さま方、ご指導・ご協力いただきました関係機関の方々に心より御礼申し上げます。

青い目の人形とは

青い目の人形は、昭和2（1927）年のひな祭りに、アメリカから日本の子どもたちに贈られた「友情人形」のことです。贈られた頃は、アメリカの子どもたちからの友情のしるしとして、歓迎され大切にされました。

お人形たちは、きれいなお洋服を着て、寝起きするたびに目をパチクリとさせ、抱きおこすと「ママー」と声を出すのです。パスポートや切符、日本の子どもたちへの手紙も持っていて、まるで一人前の人間のようにでした。その見たことのない愛らしさや驚きは、当時の日本の子どもたちに忘れがたい感動を残したのです。

このプレゼントを計画したのは、アメリカ人宣教師のシドニー・ルイス・ギューリック博士(1860-1945)です。20年以上も教師として日本に住んでおられた方で、明治から大正時代にかけて、どんどん日本とアメリカの関係が悪くなっていくことを心配してのことでした。

この頃、多くの日本人がアメリカへ移り住んでいきました。その頃のアメリカは、不景気で失業者があふれ、安い賃金でよく働く日本人はアメリカ人から嫌われ、日本人を閉め出す運動が起こっていました。大正13（1924）年には、日本人がアメリカへ入国できなくする法律が成立するなどしていたのです。

また、一方では、「平和と友情の精神」を次の世代に向けて育てていくためには、子どもの世代からの国際交流が必要という理念のもと「世界児童親善会」が設立され、ギューリック博士はその幹部の一人でした。日本では、実業界の重鎮であった渋沢栄一氏が「日本国際児童親善会」を設立し、受け入れの準備に協力しました。そして、文部省により全国に届けられることになり、福島県には323体が到着したことが当時の新聞から読みとれます。

しかし、平和への願いはかなわず昭和16（1941）年に太平洋戦争が始まると、敵国のものとして焼き捨てられるなど、悲しい運命をたどりました。

20年以上も日本に住んでいたギュリック博士に「日本の子どもたちへ人形をプレゼントしよう」と思いつかせたのは、当時日本でよく歌われていた童謡^{どうよう}であったといわれます。

“青い目をした お人形は アメリカ生まれの
セルロイド…”

もともこの童謡は、大正10年に野口雨情^{のぐち うじょう}により作曲され日本中に流行^{りゅうこう}して広く歌われていました。

このころ贈られた親善人形は、この歌が広く流行していたために、一般に「青い目の人形」と呼ばれるようになったのです。贈^{おく}られた人形のほとんどは、青い目ではなかったそうです。異人^{いじん}さんといえば「青い目」というイメージが強かったからと考えられます。



参照：「世界と出会う日本の歴史5」アメリカからきた青い目の人形 歴史教育者協議会／編 ほるぷ出版
歴史への招待25 日本放送出版協会

とうれいにんぎょう 答礼人形とは

「青い目の人形」を贈^{おく}ってもらったお礼に、アメリカへ日本人形^{にほんこくさいじどうしんぜんかい}を贈ることになりました。中心となったのは、日本国際児童親善会というところ^おです。人形の数は、日本代表・各都道府県・六大都市などをあわせて58体をアメリカ各州に贈^おることに決まり、全国の子どもたちから協力を求めました。この求めに^お応じた子どもたちは、一人一錢^{いっせん}ずつお金を出しあいました。（このころの一錢とは、お祭りなどの特別な時にもらえるおこづかいで、だいたいおまんじゅうが2個ぐらい買えました。）

大きさが80センチほどで、人形の^{ねだん}値段が150円、友禅染^{ゆうぜんぞめ}の着物や道具類を付けると350円もする最高の人形がつくられました。当時の平均的なサラリーマンの月^{げっしゅう}収がおよそ60円だった頃、いかに高価な人形であったかがわかります。人形には、それぞれ^{ふくしまきぬこ}県の名前が付けられました。福島県からのお人形は「福島絹子」さんです。

昭和2（1927）年11月、東京に集められた人形たちは、日本青年館での盛大な送別会の後、日本の子どもたちからのお手紙を持って、クリスマスに間に合うように送り出されたのでした。

当時の日本人^{いみん}移民は排日^{はいにちかんじょう}感情が高まるなかで苦しい立場にありました。日本経済は、第一次世界大戦後の^{きょうこう}恐慌や関東大震災^{かんとうだいしんさい}により大変な^{ふきょう}不況が続き、移民を続けなければならない状況もありました。それだけに、この人形交流をとおして、排日感情がゆるむことを強く願ったのでした。

答礼人形たちは、アメリカ中をまわって歓迎を受けた後、各州に^{わりあい}一体の割合で公共施設^{こうきょうしせつ}に保管^{ほかん}されたということです。

参考資料

「福島県立博物館紀要」第23号；「青い目の人形」八戸市博物館／編・発行；「世界と出会う日本の歴史」5 ほるぷ出版；「歴史への招待」25 日本放送出版協会
「青い目をしたお人形は」武田英子／著 太平出版社

お人形さんたちの自己紹介です

親善人形 ジャン・マリー・ネルソン(梁川中央保育園蔵)

戦争中の昭和19年夏、梁川小学校にいたお友だちは、鬼畜米兵と同じ出身地であるということで焼かれてしまったと聞きました。わたしのいる梁川のお寺の保育園にも、警察や憲兵が度々来て、園長先生に処分するように迫ったのです。園長先生は、近日中に焼却すると言い逃れ、須弥壇下の納骨堂の一斗缶の中にわたしを隠してくれました。平成7年頃、園長先生はわたしがアメリカから日本に来た時に持っていたお手紙をたよりに、贈り主のニューヨーク州ナイアガラ町にある日曜学校の生徒をさがしてくれました。

(ご子息の記録と「福島民報」平成7年5月19日3面を参照)

親善人形メリー(福島市立福島第三小学校蔵)

わたしは、三小の卒業生でもあった先生に、押し込みのところに隠すように置かれていたのを発見され、大切にされていました。先生は昭和4年に同校を卒業されておりますが、小学生のころ、わたしが作法室の床の間に飾られていたのをはつきりと覚えていただきました。昭和59年に百周年を迎えるにあたり、三小に帰ってきました。今は、職員室の廊下側から子どもたちを見守っています。(「福島民友」昭和58年10月23日23面を参照)

親善人形メリー(福島市立荒井小学校蔵)

戦争中にわたしは、二人の女の先生が相談して、男の先生のこない裁縫室に布にくるんで隠されたのです。そして、戦争が終わってしばらくしてから出してもらったのです。その後、郷土の歴史に関心を持った先生がわたしに気づいてくれて、わたしを題材に子どもたちと研究記録を作ってくれました。わたしの運命から、平和を考えるきっかけになれたらと思っています。(「荒井の歴史を調べた研究記ろく」荒井小3年2組／編・著、

「福島民友」平成7年8月27日1面 ふくしまの戦後50年 第3部平和を求めて7を参照)



立っているのが
梁川中央保育園の
ジャン・マリー・ネルソンちゃん

向かって左は、荒井小の
メリーちゃん

向かって右が、三小の
メリーちゃん

「青い目の人形」関連資料一覧

2010(H22).6.27 現在

No.	書名	備考
地域資料		
1	アサヒファイン 朝日ファイン発行室 LZ/071/A3	Vol.121、2003.1.26
2	安達町の昔を語る会例会研究資料 3〔安達町の昔を語る会／編〕小島徳二 2000. 9 L / 212 / A6 / 1-3 100928019	「青い目のお人形」(渡辺マツ)の思い出話、新聞記事の複製、人形現存数の一覧などあり。
3	福島大学教育学部附属小学校百年史 福島大学教育学部附属小学校百年史編集委員会／編 福島大学教育学部附属小学校創立百周年記念事業協賛会 1980 L / 376.2 / F5 / 1100256213	附属小百年史年表p22。昭和2年(1927)の9月10日の項に「アメリカ人形マリー嬢到着。」の記載あり。:同、9月15日の項に「平和の使者アメリカ人形の歓迎会開催。」の記
4	福島市史資料叢書 第35輯 新聞資料集成 昭和の福島1 福島市史編纂委員会／編 福島市教育委員会 1982. 3 L / 211 / F3 / 35 101039568	p158。「青い眼の人形さんを全国の小学校へ日米親善に贈る」(福島民報夕刊 昭和2年1月23日):p158-159。「鞆の中に着換まで入れ 青いおめゝがくるくる」(福島民報夕刊 昭和2年3月13日):p159。「可愛いお人形の答礼使 福島から遥々アメリカへ お人形の名は福島絹子さん?」(福島民報夕刊
5	文化福島 通巻374 2003.4 L/706/F4/1-	p6-7。「青い目の人形展」
6	月館小百年誌 月館小学校百年誌編集委員会／編 月館小学校創立百周年記念事業実行委員会 1990 L / 376.2 / T9 / 1 100258052(1件)	p154。昭和3年2月6日の項に「月館小・アメリカ人形歓迎会を挙る」
7	〔清水小学校〕百年のあゆみ 清水小学校創立百周年記念誌出版委員会／編 清水小学校創立百周年記念事業実行委員会 1989 L / 376.2 / S9 / 2 100257781	p70。昭和2年の項に「アメリカ人形歓迎会を開く。」
8	資料で見る小学校の歴史 白河市歴史民俗資料館／編 白河市歴史民俗資料館 1986. 7 L / 376.2 / S12 / 1 100257849	p36。青い目の人形の記事と写真あり。
9	白二小百年誌 白河市立白河第二小学校／編 白河市立白河第二小学校創立百周年記念事業実行委員会 1986 L / 376.2 / S13 / 1 100257856	p16。昭和2年の項に「アメリカから友情の人形使節「ベティ・ジェーン」本校に贈られる」。
10	鳥川百年 鳥川小学校創立百周年記念誌委員会／編 鳥川小学校創立百周年記念事業実行委員会 1992 L / 376.2 / F13 / 1 100256536	p20。第四節昭和初期の教育 1当時の世相の項、「昭和2年11月28日の項に、アメリカ人形歓迎会を行うとある。」
11	飯坂小学校百年のあゆみ 福島市立飯坂小学校創立百周年記念事業委員会／編 福島市立飯坂小学校創立百周年記念事業委員会 1973. 9 L / 376.2 / F21 / 1 101058360	p85。1927の項に「アメリカ人形が送られてきた」。
12	瀬上小学校110年のあゆみ 瀬上小学校創立百年祭／編 瀬上小学校創立百年祭 1981 L / 376.2 / S11 / 1 100257815	p14。昭和2年の項に「日米親善人形がとどいた」
13	瀬上小学校百年のあゆみ〔瀬上小学校百年のあゆみ〕記念誌編纂委員会／編 瀬上小学校創立百年祭〔会〕 1971 L / 376.2 / S1 / 1 100257633	p52-53。アメリカ人形の項あり。
14	百年のあゆみ 福島市立福島第二小学校記念誌編集委員会／編 福島市立福島第二小学校創立百周年記念事業実行委員会 1998. 3 L / 376.2 / F18 / 100800051	p158。昭和2年4月の項に「アメリカ人形披露会を行なう」
15	一誠の百年 一誠の百年編集委員会／編 福島第一小学校創立百周年記念実行委員会 1973 L / 376.2 / I2 / 1 100256791	p139。昭和2の項に「アメリカ人形歓迎会を行なう」

「青い目の人形」関連資料一覧

2010(H22).6.27 現在

No.	書名	備考
16	喜多方市立岩月小学校創立115周年記念誌 松のみどり 岩月小学校同窓会記念誌編纂委員会／編 岩月小学校同窓会 1988 L / 376.2 / K17 / 1 100257187	p27. 昭和2年12月5日の項に「アメリカ人形歓迎会」。
17	百年のあゆみ 川俣小学校創立百周年記念誌編集委員会／編 川俣小学校創立百周年記念祭執行委員会 1973. 12 L / 376.2 / K23 / 1 101052678	p82-83. 2巖谷小波御伽会とアメリカ人形歓迎会、の項あり。
18	喜多方市史年報 4 喜多方市史編纂準備委員会／編 喜多方市史編纂準備委員会 L / 216 / K14 / 1-4 100013416	p4. 昭和2年度、11月26日の項に「アメリカ友情人形歓迎会。」とあり。
19	グラフィックしま 第5号 福島県広報広聴課／[編] 福島県広報広聴課 1日 L / 318.2 / G2 / 1 101094985	p10-。「歴史探訪 語り継がれる青い目の人形」
20	みんなで学ぶ地域の歴史 半沢光夫／[著] 東北産業印刷所 2002. 8 L / 375.3 / F16 / 1 101061000	p75-84。「青い目の人形」を掘りおこし授業に」
21	「創立四十周年記念誌」(福島市荒井地区婦人会)	福島市立図書館所蔵。青い目の人形についての記載ありという。参考資料09に指摘あり
22	歴史地理教育 468号 1991. 2 歴史教育者協議会／編 歴史教育者協議会 Z / 375.3 / R2 /	p62-。「青い目の人形」を掘りおこし授業に」(半沢光夫)
23	歴史地理教育 460号, 1990. 8 歴史教育者協議会／編 歴史教育者協議会 Z / 375.3 / R2 /	p121. 実践記録集紹介の項に、「荒井の歴史を調べた研究記ろく「青い目の人形」の紹介あり。
24	郷土やながわ 第9号 梁川町郷土史研究会／編 梁川町郷土史研究会 L / 212 / Y / 4-9	口絵写真。梁川・和田信光氏蔵の青い目の人形の写真あり。
25	荒井の歴史探訪 渡辺 智英／著 渡辺 智英 地域書庫 L211/Y6/1	
26	うえいぶ 第34号 うえいぶの会 20050801 館内 地域書庫 L051/U1/34	
27	人形大使 もうひとつの日米現代史 高岡 美知子／著 日経BP社 館内 地域書庫 L319.1/T2/1	
28	福島の歴史・ウソとホント 半沢光夫／著 ナカガワ 1992 L210.04/H1/1 地域公開	p139-145「18「青い目の人形」と戦争」の項あり。
29	喜多方市史 第3巻 通史編 3 近代・現代 喜多方市史編纂委員会／編 喜多方市 地域書庫 L216/K14/3-3	p443. 第6章第4節「小学校教育」の項。喜多方小学校で歓迎会が行われた云々。「喜多方小学校学校日誌 昭和2年度」という資料がある由。
30	白河市史 第8巻 近代・現代 白河市／編 白河市 地域書庫 L215/S4/3-8	p677-679。「512 昭和2年11月 米国より親善人形」:口絵に白河第二小学校蔵のベティ・ジェーンの写真あり。
31	梁川町史 第9巻 資料編 梁川町史編纂委員会／編 梁川町 地域書庫 L212/Y2/1-9	p254-255。「130昭和二年十一月米国世界児童親善会の人形寄贈」
32	福島県立博物館紀要 第23号 2009 福島県立博物館 L069/F2/3-23	
33	「青い目の人形展」[パンフレット] 福島市教育委員会／編・発行	

「青い目の人形」関連資料一覧

2010(H22).6.27 現在

No.	書名	備考
一般資料		
1	青い目をしたお人形は 武田英子／著 太平出版社 1981. 8 / 916 / t / 303627673 p43 表紙の 写真は白河第二小学校のベティちゃん。	おもてカバー写真は、白河市第二小学校の 人形。おもてカバー袖上写真は、郡山市守 山小学校の人形。同袖下写真は会津若松 市もと茂原幼稚園の人形。うらカバー写真 は、郡山市福良小学校の人形。うらカバー 袖下写真は、いわき市小川小学校の人 形。:p17。郡山市福良小学校の学校日記の 記載あり。:p42。会津坂下町のもと茂原幼 稚園の人形について記載あり。:p64。各道 府県人形分配数の記載あり。福島県は323 体。:p145-147。会津若松市の記載あり。: p238。青い目の人形保存校一覧に福島県 の項あり。
2	歴史への招待 25 日本放送出版協会 館内 社会書庫 210.08/R4/25 社会図書	
3	「青い目の人形」 八戸市博物館／編・発行 平成11(1999)	
児童書		
1	世界と出会う日本の歴史 5 アメリカからきた青い 目の人形 歴史教育者協議会／編 ほるぷ出版 児童公開 210/セ/5	
2	日本の歴史明治維新から現代 5 テーマ別近現代 史 国境をこえた人びとの歴史 坂井 俊樹／監修 ポプラ社 館内 児童公開 210/ニ/5	
3	青い目をしたお人形ベティ 太平・新創作童話 武 田英子／作 太平出版社 館内 児童書庫 913/タI/	
4	なぞのアメリカ人形 創作童話シリーズ 武田英子 ／作 佼成出版社 館内 児童書庫 913/タI/	
5	青い目の人形 海を渡った親善人形と戦争の物語 原田 一美／著 未知谷 館内 児童公開 913/ハカ/	
6	青い目の人形メリーちゃん 小学館のノンフィクシ ョン童話 武田英子／文 小学館 館内 児童書庫 916/タ/	
7	「小学道徳 心つないで」 6年 教育出版 友情の人形	平成22年度版にも掲載あり。当館所蔵な し。

「青い目の人形」関連資料一覧

2010(H22).6.27 現在

No.	書名	備考
借用資料		
1	「写真資料集 青い目の人形」武田英子／編・著 山口書店 昭和60年	個人蔵
2	「お帰りなさい答礼人形 青い目の人形交流展」 マール社／編 国際文化協会等／発行 1988	
3	「青い目の人形」八戸市博物館／編・発行 平成 11(1999)	
4	「日本からの親善使 答礼人形写真集」編著・発行 ／針谷浩一 平成13(2001)	
5	「DOLLS OF FRIENDSHIP」Friendship Press 1929	
1	「写真資料集 青い目の人形」武田英子／編・著 山口書店 昭和60年 福島市立荒井小学校所蔵	以下5点 福島市立荒井小学校所蔵
2	「青い目の人形にはじまる人形交流」横浜国際観 光協会、横浜人形の家／編・発行 福島市立荒井 小学校所蔵	
3	「荒井の歴史を調べた研究記ろく 青い目の人形」 福島市立荒井小学校3年2組 1990 福島市立荒 井小学校所蔵	
4	友情の懸け橋 青い目の人形展 日本はきもの博 物館、日本郷土玩具博物館／編・発行 2004 福島 市立荒井小学校所蔵	
5	「おかえりなさい！ ミス福島」[パンフレット] 福島 県立博物館／編・発行 平成20(2008) 福島市立 荒井小学校所蔵	
1	梁川中央保育園 歓迎会記念撮影(昭和2年11月 23日)パネル梁川中央保育園所蔵	以下9点、梁川中央保育園所蔵
2	「青い目の人形ものがたり」「青い目の人形ものが たり」編集委員会／編 山形教育用品株式会社/発 行 平成4(1992) 梁川中央保育園所蔵	
3	「可愛いお人形が親善のお使」日本国際児童親善 会／編・発行 昭和2(1927) 梁川中央保育園所蔵	
4	「答礼の使者として米国へ人形を送りませう」日本 国際児童親善会／編・発行 [昭和2(1927)] 梁川 中央保育園所蔵	
5	「人形を迎える歌」[日本国際児童親善会／編・発 行] [昭和2(1927)] 梁川中央保育園所蔵	
6	「昭和二年十一月二十三日 米国人形歓迎会招待 者控」私立梁川中央幼稚園／編・発行 梁川中央 保育園所蔵	
7	青い目の人形が持参した手紙 2枚 梁川中央保育 園所蔵	贈り主の住所:ニューヨーク州ナイヤガラ 日曜学校とあるのがわかる
8	アメリカ人形歓迎展覧会(福島県) 2葉 福島市紅 葉山の県商品陳列所での歓迎展覧会(昭和2年4 月4日～)の写真 梁川中央保育園所蔵	
9	梁川中央保育園長が当時の記憶を語る(ご子息の 記録) 梁川中央保育園所蔵	

「青い目の人形」関連記事一覧

2010(H22).6.27 現在

新聞名	掲載月日
福島新聞	①昭和2年3月24日3面: ②同4月1日3面:③同4月4日3面: ④同4月7日3面:⑤同4月8日3面(各地区の人形の割り当て数が記載されている) ⑥同4月24日3面:
福島民友	①昭和2年3月4日4面・夕刊1面: ②同3月5日3面:③同3月12日3面 ④:同3月13日3面: ⑤同3月13日夕刊1面: ⑥同3月14日3面:⑦同3月27日3面: ⑧同4月1日別刷1面: ⑨同4月2日4面(仙臺版): ⑩同4月7日3面 ⑪昭和2年10月23日3面 ⑫同10月25日夕刊1面 ・昭和58(1983)年10月23日:無事だった青い目の人形三小に戻る ・平成7(1995)年8月27日1面 ふくしまの戦後50年 第3部平和を求めて7 半沢光夫先生 ・平成7(1995)年12月12日23面 福島で新たに2体発見 ・2005(平成17)年7月25日付 福島民友新聞第3面「ふくしまその時代」第23回に菊田宗平氏が“青い目の人形”について執筆 ・2008年03月10日 朝刊 3面 福島県立博物館 「ミス福島」米所有者に子どもらメッセージ ・2008年02月17日 朝刊 3面 福島県立博物館 答礼人形「ミス福島」展示
福島民報	①昭和2年3月3日夕刊3面: ②同3月4日3面:③同3月5日夕刊2面: ④同3月11日3面:⑤同3月12日3面: ⑥同3月13日夕刊2面: ⑦同3月15日(なし?):⑧同3月20日3面:⑨同3月27日3面:⑩同3月31日3面: ⑪同4月1日夕刊2面: ⑫同4月5日夕刊1面:⑬同4月7日3面: ⑭同4月9日3面 ⑮昭和2年10月12夕刊1面、 ⑯同10月23日夕刊2面、 ⑰同10月25日3面(ヒント合わず)(福島絹子さん旅立ちの茶話会)

「青い目の人形」関連記事一覧

2010(H22).6.27 現在

福島民報	<p>⑱昭和57(1982)年8月14日18面梁川の保育園に健在: ⑲昭和62(1987)年2月14日13面60年たっても健在梁川の中央保育園 ⑳平成7(1995)年5月19日3面手紙発見身元分かる ・平成20(2008)年1月24日ミス福島80年ぶり里帰り ・平成20(2008)年1月31日手紙朗読の沼崎八重さん ・平成20(2008)年2月16日県立博物館きょうから展示 ・平成20(2008)年2月18日80年前の記憶と対面 ・平成20年3月2日「青い目の人形」と確認、高岡さん講演</p>
毎日新聞	<p>人形を敵性視する記事昭和18(1943)年2月19日夕刊2面 2003.3.24 福島版 「青い目の人形」よく知ってね 紙芝居での「おはなし会」開催 平成14(2002)年7月14日30面:「日米の友情」75年目の再会 平成19(2007)年12月21日31面雑記帳</p>
朝日新聞	<p>①平成7年11月23日: 平成14(2002)年7月29日34面: ロサンゼルス全米日系人博物館「友情へのパスポート」 ②平成20(2008)年2月16日35面「ミス福島」里帰り</p>
読売新聞	<p>平成14(2002)年7月27日夕刊18面「米で展覧会」 平成14(2002)年8月19日夕刊1面「よみうり寸評 ロサンゼルス全米日系人博物館」</p>
日本経済新聞	<p>平成14(2002)年7月22日夕刊16面: 親善人形口で対面</p>
河北新報	<p>平成20(2008)年8月14日夕刊1面</p>
産経新聞	<p>平成14(2002)年6月16日29面: 友好の証し75年ぶり対面 ロサンゼルス全米日系人博物館</p>
阿武隈時報	<p>昭和56年3月19日(当館所蔵分から抜け?)</p>

関係HP

http://www.general-museum.fks.ed.jp/01_exhibit/teima_tenji/2007/mis_fukushima/rekibi_2007_08.html

福島県立博物館平成19年度(テーマ展)2007/2/16～3/16 「おかえりなさい！ミス福島」

<http://www.shibusawa.or.jp/museum/index.html>

渋沢栄一記念財団 渋沢史料館

<http://www.itimatu.co.jp/topic/missfukushima/fukushima.html>

市松人形館トピックス集 答礼市松「MISS福島」帰国